（書式１－１）

後見開始の審判申立書

後 見 開 始 申 立 書

平成○○年○○月○○日

○○家庭裁判所　御中

本　籍　　○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号
住　所　　○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号
電　話　　○○（○○○○）○○○○
申立人　　○○○○（昭和○○年○○月○○日生）
職　業　　会社員
本人との関係　　四親等内の親族（実妹）

本　籍　　○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号
住　所　　○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号
電　話　　○○（○○○○）○○○○
本　人　　○○○○（昭和○○年○○月○○日生）
職　業　　無職

申 立 の 趣 旨

本人について後見を開始するとの審判を求める。

申 立 の 実 情

1　本人は、申立人の実妹である。

2　本人は、平成〇〇年〇〇月〇〇日に〇〇〇〇と婚姻したが、夫の〇〇〇〇は、平成〇〇年〇〇月〇〇日死亡した。

3　本人は、別紙物件目録記載の土地・建物を所有しており、そこで独り住まいをしている。

4　本人には、亡夫の遺産である預貯金及び保険がある。

5　本人は、夫死亡後の平成〇〇年〇〇月頃から認知症となり、身の回りのことすらできなくなり、通院中の〇〇病院の主治医は入院を強く勧めている。

6　このため、申立人が本人を上記病院に入院させて、その療養看護に努めると共に財産の管理を行いたく、本申立に及んだものである。

Asahi Chuo

成年後見人候補者の表示

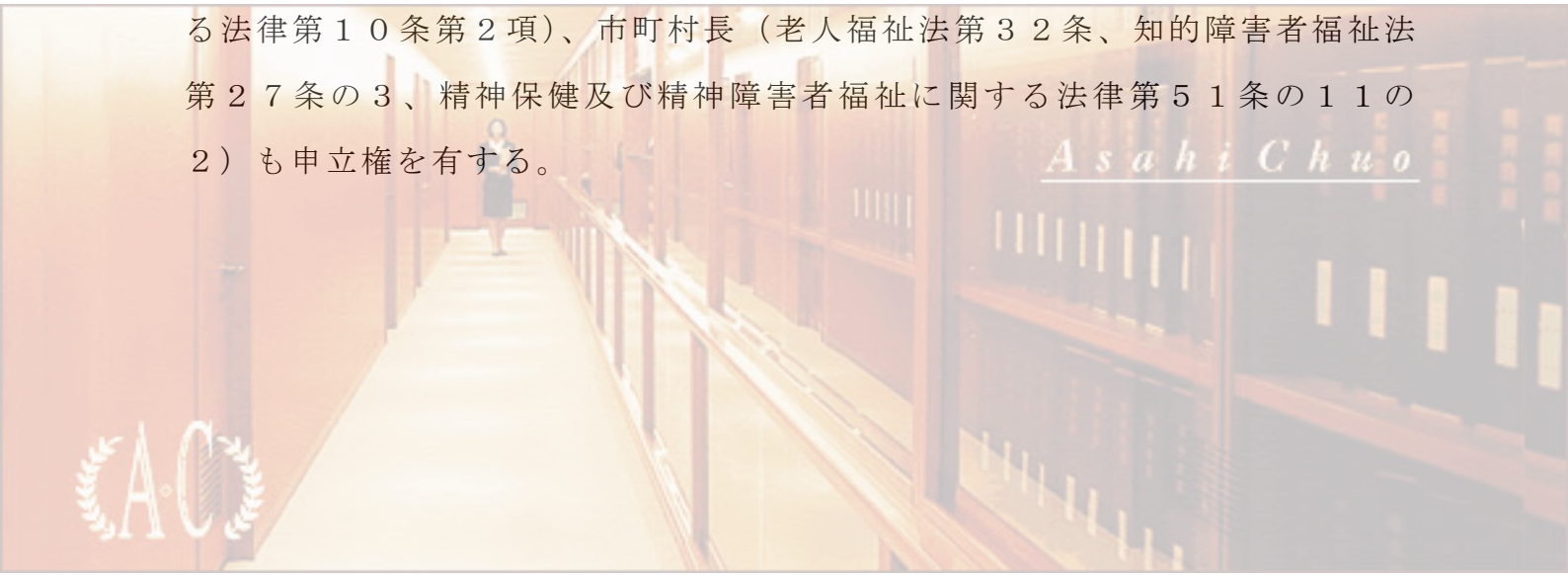
本　籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
住　所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
電　話	〇〇（〇〇〇〇）〇〇〇〇
氏　名	〇　〇　〇　〇　（申立人）
	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生
本人との関係	実兄（長男）
職　業	会社員
勤務先	〇〇株式会社
会社所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

添　付　書　類

戸籍謄本（申立人）	1通
戸籍謄本（本人）	1通
戸籍附票（本人）	1通
登記事項証明書（本人）	1通
診断書（本人）	1通
戸籍謄本（成年後見人候補者）	1通
住民票（成年後見人候補者）	1通
身分証明書（成年後見人候補者）	1通
登記事項証明書（成年後見人候補者）	1通

解説

（後見開始の審判申立書）

本申立書は、民法第７条による後見開始の申立である。本人が精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く常況にあると認められる場合、家庭裁判所は申立により後見開始の審判を行うことができる。

申立権者は、本人、配偶者、四親等内の親族、未成年後見人、未成年後見監督人、保佐人、保佐監督人、補助人、補助監督人、検察官（以上、民法第７条）のほか、任意後見受任者、任意後見人、任意後見監督人（任意後見契約に関する法律第１０条第２項）、市町村長（老人福祉法第３２条、知的障害者福祉法第２７条の３、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第５１条の１１の２）も申立権を有する。